

## 自己評価シート

## 職員による自己評価

**A環境面**

- ・室内環境は改善の結果が出ている。
- ・職員の配置については管理者側の考えと相違も見られ、調整が必要と感じる。

**B利用者への支援内容**

- ・支援の成果が実感できない職員もいた。
- ・カフェ活動の役割について、職員全体での共通理解の不足が見られた。

**C関係機関との連携**

- ・関係機関との連携については、不十分に感じているスタッフが少なくない。

**D保護者への説明責任・信頼関係**

- ・支援内容や活動報告について、保護者と信頼関係を築いて行っていると感じている職員が多数であった。

**E非常時対応**

- ・利用児への避難方法の指導に不安を感じている職員もいるので、対応が必要である。

## 保護者による評価

**A環境面**

- ・室内環境については、概ね満足を得ているが、職員配置や他児との関り等、人的環境には課題が見られた。

**B利用者への支援内容**

- ・本人のニーズに合った支援やその成果については評価をされている様子。
- ・余暇活動のカフェについては、理解を得られていない傾向が見られた。

**C事業所からの情報発信**

- ・活動報告や保護者向けのおたよりなどについては、評価を得られていない回答もあり課題と感じる。
- ・デジタルツール利用についての要望もあった。

**D非常時対応**

- ・緊急時の通知については適切との評価を得ているが、訓練実施の理解や怪我や病気の対応については保護者の信頼を得ていない回答も見られ、課題である。
- ・保険加入については、周知不足を感じるので対応を検討したい。

## 事業所内での分析

**【共通点】**

- ・環境面や支援内容については、全体として適切であると考えてよいと感じたが、特にカフェ活動の意義については共有の不足がある。
- ・他機関との連携については、スタッフ、保護者ともに不足を感じている事がわかった。

**【相違点】**

- ・支援の評価について、保護者からは得ているのに職員がそれを実感していない事が見られた。
- ・逆に支援報告については、職員は十分と思っているが保護者は不足を感じている事がわかった。

## 分析・検証してみた

### 事業所の強み

- ・支援内容については、保護者から多くの信頼を得ていると考えられる。また、文書回答の中ではイベント的な支援についても保護者からの評価をえることができた。
- ・施設面での環境については、保護者・職員とも適切であると理解されている。
- ・また、多くの職員がやりがいを持って支援にあたっていることはとても有意義なことである。

### 事業所の改善点

- ・特に保護者に対する報告については、不十分な点があることを職員側が気づいていないことは大きな反省点である。関連して、デジタルツールを用いての情報共有の希望もある。
- ・支援内容において〈カフェ〉については、保護者、職員ともに理解が不足している。
- ・避難訓練実施については、充実を図る必要を感じた。

### 事業所の改善への取り組み

- ・支援内容について、個別、小集団、カフェ活動とある中でそれぞれの意義を再検討してそれぞれの特性にあった支援内容を膨らませていく。
- ・保護者への情報共有については、デジタルツールの使用も含めて方法から検討していく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・同じ事柄について、保護者と職員では認識の違いを気づかされ、良い機会となった。今後も保護者との信頼関係を深め、誠実にご意見に答えて行きたい。
- ・今回、保護者からのアンケート返答数が引くかった事が気になった。次年度以降も周知の仕方や方法を検討していきたい。

事業所名

NPO法人レクタス三ツ境教室

担当者

小林 由貴子